



ユーザーガイド動画へのアクセスをスキャン



ユーザーマニュアルへのアクセスをスキャン

A229 Plus

取扱説明書



目次

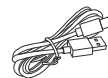
1. 付属品シート	----- 1
梱包内容	
別売りオプション	
各部名称	
2. 取り付けについて	----- 9
SDカードを装着/取り外す	
本機に取り付け	
フロントガラス用両面テープの取り付け	
リアカメラの取り付け	
車内カメラの取り付け (別売り)	
カメラの取り外し	
3. 操作方法	----- 18
初期設定	
電源オン/オフ	
ループ録画	
緊急録画	
音声録画の無効化/有効化	
駐車監視	
4. ビデオの再生と管理	----- 23
本機でビデオを再生	
VIOFO APPでビデオを再生	
PCでビデオを再生	
ビデオファイルの保存場所	
5. スマホで設定とコントロール	----- 25
スマートフォンへの接続	
APPレイアウトの概要	
6. 別売り・アクセサリの取り付け	----- 28
CPLをインストール	
Bluetoothリモートコントロールを取り付け	
7. カメラの設定	----- 30
ビデオ設定	
システム設定	
ファイルリスト	
8. ファームウェアの更新	----- 38
9. 注意	----- 38
10. カスタマーサービス	----- 40

付属品シート

梱包内容



フロントカメラ
+GPSモジュール



Type-Cケーブル



カーチャージャー
アダプター



フロントマウント
両面テープ



内張りはがし



フロントガラス用
両面テープ x2

* 注意：USBデータケーブルは、カメラとパソコンを接続して動画ファイルの転送やファームウェアの更新を行うためのものです、カメラの充電用ではありません。

別売りオプション



リアカメラ



車内カメラ



リアカメラケー
ブル (6M)



車内カメラケー
ブル (1M)



Bluetooth
リモコン



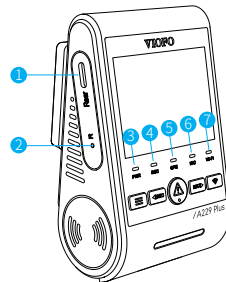
CPL



HK4
駐車監視ケーブル

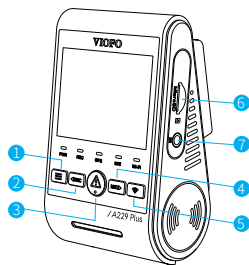


micro
SDカード



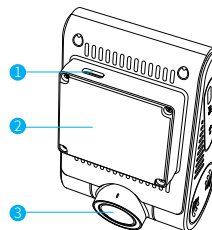
製品概要

■ フロントカメラ



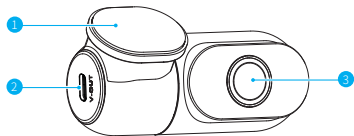
- 1- メニュー / 電源オン|オフ
- 2- [上]ボタン / 録画開始 / 録画停止
- 3- 選択ボタン / 録画保存 / 録画再生
- 4- [下]ボタン / 録音開始 / 録音停止
- 5- Wi-Fi オン|オフ
- 6- microSDカードスロット
- 7- 車内カメラ端子

- 1- リアカメラ端子 / 電源入力 / microSDカードリーダーモード (コンピュータ)
- 2- リセットボタン
- 3- 電源状態を表示
- 4- 録画状態を表示
- 5- GPS 状態を表示
- 6- マイク状態を表示
- 7- Wi-Fi 状態を表示



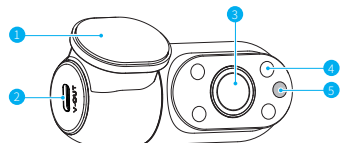
- 1- USB 電源
- 2- マウント (GPSマウント)
- 3- レンズ

■ リアカメラ



1. ブラケット
2. 電源入力
3. レンズ

■ 車内カメラ（別売り）



1. ブラケット
2. 電源入力
3. レンズ
4. 赤外線LED
5. IRライトセンサー

LEDインジケータ

LED	Led 状態	操作
PWR	赤点滅	ファームウェアの更新
	赤点灯	電源オン
	オフ	電源オフ
REC	赤点灯	録画中
	赤点滅	録音停止
GPS	青点滅	GPS信号接続中
	青点灯	GPS信号接続済
	オフ	GPS オフ
MIC	青点灯	録音オン
	オフ	録音オフ
Wi-Fi	青点滅	Wi-Fi接続待ち
	青点灯	Wi-Fi 接続成功
	オフ	Wi-Fi オフ

ボタン機能の説明

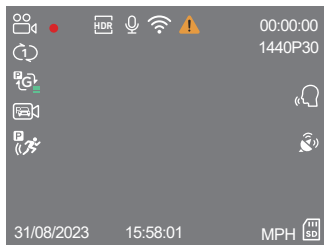
モード	ボタン	操作
録画 モード		電源オフ（長押し） 写真を撮る（短押し）
		録画を開始/停止（短押し）
		録画中のファイルをロック（短押し）
		録音を有効/無効（短押し） 駐車監視を有効/無効（長押し）
		Wi-Fiオン/オフ（長押し） カメラ画面切り替えを変更（短押し）

モード	ボタン	操作
スタンバイ モード (録画停止)		メニューに入る（短押し）
		録画開始（短押し） カードフォーマット（長押し）
		プレイリストに入る（長押し）
		録音を有効/無効（短押し） 駐車監視を有効/無効（長押し）
		Wi-Fiオン/オフ（長押し） カメラ画面切り替えを変更（短押し）

モード	ボタン	操作
プレー リスト モード		前のメニューに戻る プレイリストを終了
		メニュー上に / 再生速度の変更 / ビデオを削除
		現在のビデオの選択/再生/ 一時停止
		メニューダウン/再生速度変更/現 在のビデオをロック/ロック解除
		N/A

モード	ボタン	操作
メニュー モード の設定		設定メニューを終了する / 前のメニューに戻る
		メニューアップ
		設定項目の入力 / 確認
		メニューダウン
		N/A

画面表示概要



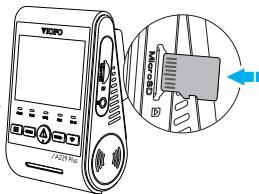
	録画モード		Wi-Fi 状態
	録画中		緊急ロック
	ループ録画中	00:00:00	緊急録画
	駐車Gセンサーオン	1440P30	ビデオ解像度
	駐車監視		GPSオン
	駐車動体検知		音声コントロール
	HDRステータス		SDカードステータス
	マイクの状態	MPH	GPSスピード

取り付け

メモリーカードの挿入/取り外し

■ microSDカードの挿入

カメラの電源がオフになっていることを確認してください。microSDカードの向きを確かめ、カチッと音がするまで挿入してください。カードのラベルはスクリーンと逆方向です。



■ microSDカードの取外し

カメラの電源がオフになっていることを確認してください。本機の電源が切ること（全てのLEDが消灯）を確認して行ってください。microSDカードを押し込むと、少し飛び出してから引き抜けます。

注意:

- microSDカードは別売りです。本機にはUHS-U1 / U3以上のmicroSD（最大512GBまで対応）カードの使用をおすすめします。
- 高い耐久性と信頼性を誇るトップMLC NANDフラッシュメモリを採用した、VIOFOブランドのmicroSDカードの使用をおすすめします。
- メモリーカードは最初に使用する前にフォーマットする必要があります。パソコンまたはカメラでexFATまたはFAT32ファイルシステムにフォーマットしてください。
- microSDカードを抜き差しする前に、A229 Plusの電源をお切りください。
- 録画中にmicroSDカードを抜き差しすると、ファイルが壊れることがあります。

■ microSDカードのフォーマット

メモリーカードは、最初に使用する前にフォーマットしてください。

カメラのメモリーカードをフォーマットする

カメラでカードをフォーマットするには、VIOFOアプリを使用し、[設定]の[フォーマット]オプションを使用するかまたは、[設定]の[◀IREC]ボタン長押ししてください。

コンピュータを使ってメモリーカードをフォーマット

コンピュータでメモリーカードをフォーマットするには、コンピュータのユーザーマニュアルに従ってください。

メモリーカードのディープフォーマットを行う場合、当社の公式ウェブサイトからGUIFormatツールをダウンロードすることもできます。

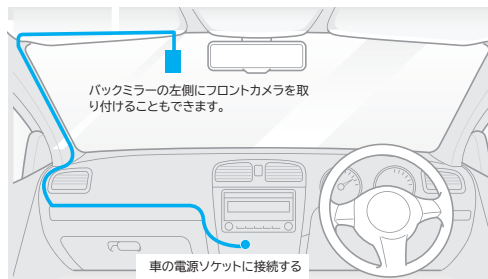
<https://viofo.com/download/guiformat.exe>

注意

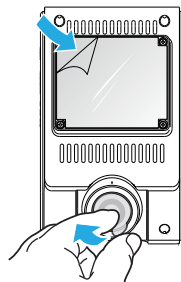
- カメラの最良のパフォーマンスを確保するため、定期的なカードをフォーマットすることをお勧めします。
- カードをフォーマットすると、すべてのデータが永久に消去されますので、重要なデータは事前にバックアップしてください。

フロントカメラの取り付け

1. GPSモジュール（マウントベース）をマウンティングプレートに合わせてスライドさせます。カチッという音が聞こえるまでスライドさせます。

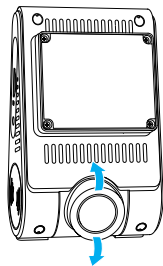


2. シールドの取り付け面を乾いた布でしっかりと拭き取り、粘着パッドがしっかりとくっつくために油分がないことを確保してください。
3. カメラを粘着パッドを使用して直接シールドに取り付けるか、取り付け前に選択した場所にフロントガラス用両面テープを取り付けます（ページ13のガイドを参照）。
4. 粘着パッドとカメラレンズの保護フィルムを剥がしてください。

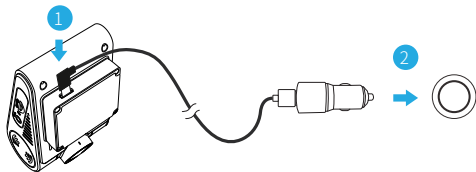


5.カメラを選択した場所に固定してください。

6.レンズの向きを調整する
ディスプレイの映像を確認しながら、レンズの角度を調整
します。



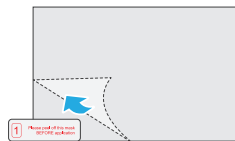
7. 電源への接続



車の充電器のUSBケーブルのメスポートを、カメラマウントのType-Cポートに挿入してください。車の充電器アダプターを車両の12V/24Vの電源ソケットに差し込んでください。

フロントガラス用両面テープの取り付け(オプション)

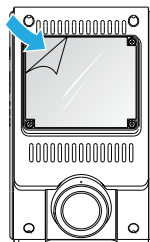
1. 取り付け前にウィンドウガラスの表面をきれいに拭き取ってください。
2. フロントガラス用両面テープから赤い保護フィルムをはがし、ウィンドウガラスに取り付けます。数秒間押し続けて、気泡がないことを確認します。



3. フロントガラス用両面テープから緑色の保護フィルムをはがします。

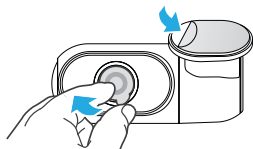


4. マウントの接着パッドの保護フィルムをはがし、両面テープに取り付けます。カメラを数秒間しっかりと押し、しっかりと取り付けられていることを確認します。



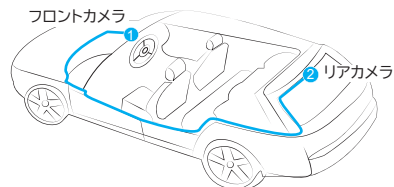
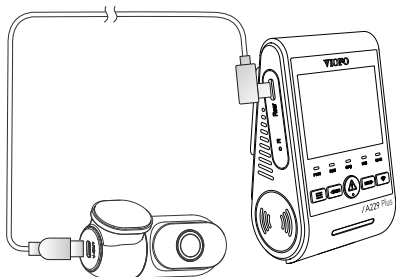
リアカメラの取り付け

- 1.デフォグガーの熱線に取り付けしないで下さい。落下や破損の原因となります。後方全体を撮影できる位置に取り付けてください。
- 2.リアガラスの取り付け面を乾いた布で拭いてください。
- 3.粘着パッドとカメラレンズの保護フィルムをはがします。



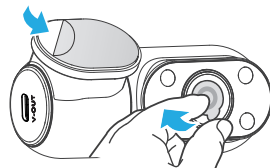
- 4.リアカメラを貼り付けしっかりと固定します。
- 5.リアカメラとの接続

製品の電源を切り、リアカメラケーブルをフロントカメラ（本機）に接続してください。
ケーブルの経路は、次の2つの図に示されている通りであるべきです。



車内カメラを取り付け（別売り）

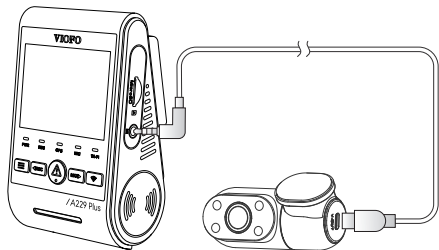
- 1.取り付け場所を選択してください。
- 2.乾いた布で風のシールドの取り付け面をしっかりと拭き取ります。除霜用のグリッドワイヤーのない、カメラが室内全体のビューを記録できる風のシールド上の場所を選択してください。
- 3.粘着パッドとカメラレンズの保護フィルムを剥がしてください。



- 4.車内カメラを選択した場所に固定する。

5. 車内カメラに接続

車内カメラケーブルを使用して、2つのカメラを接続します。製品の電源を切り、車内カメラケーブルをフロントカメラ（本機）に接続します。ケーブルの取り回しは、次の2つの図に示されているように行ってください。ケーブルクリップを使用して、2つのケーブルを便利かつ安全に固定します。



注意:

1. 運転者の視界を妨げたり、運転の安全性を妨げたりする場所にカメラを設置しないでください。
2. バックミラーの近くに取り付けることで録画の状態を確認しやすくなります。

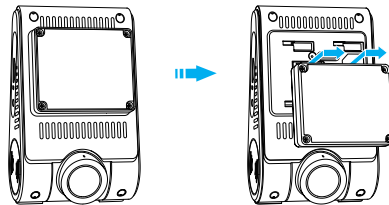
3. 雨天時でも良い状態で録画できるように、フロントワイパーの可動範囲に製品を取り付けてください。
4. レコーダーをエアバッグパネルの上または近くに設置しないでください。思わぬけがの原因となります。
5. 車両のリアガラスにサンシェードを取り付けている場合は、サンシェードと干渉しない位置に取り付けてください。

警告:

カメラやケーブルをエアバッグパネルの近くやエアバッグの動作範囲内に取り付けしないでください。製造者は、エアバッグの展開によって引き起こされたいかなる怪我または死亡に対しても責任を負いません。

カメラの取り外し

フロントカメラをブラケットから取り外すには、カメラを右にスライドさせ、フロントカメラを取り付けブラケットから引き出します。



注意:

リアカメラまたは車内カメラのプラグを抜き差しする場合は、まずカメラの電源を切ってください。

ドライブレコータ録画操作

初期設定

初回起動時には、言語、タイムゾーン、速度単位を設定して初期セットアップを行ってください。

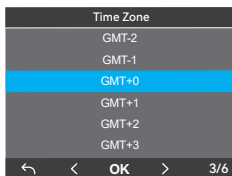
① 言語設定

言語を設定する初期セットアップ・ダイアログが表示されたら、メニュー上[MICI▶]およびメニュー下[◀REC]ボタンを押して言語を選択し、OKを押します。
[▲]ボタンを押して言語を選択し、OKボタンを押します。



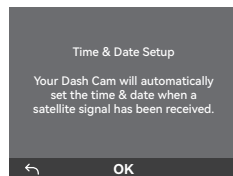
② タイムゾーンの設定

メニュー上[◀REC]およびメニュー下[MICI▶]ボタンを押して、タイムゾーンを選択し、OK[▲]ボタンを押して確定します。日本 (GMT+9)
また、[≡]ボタンを押して前のレベルに戻り、設定を変更することもできます。



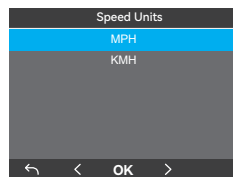
③ 自動日時設定を確認

OK[▲]ボタンを押して確定します。





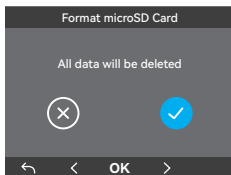
④ 速度単位の設定

メニュー上[◀REC]ボタンとメニュー下[MICI▶]ボタンを押して速度単位を選択し、OK[▲]ボタンを押して確定します。



⑤ microSDカードのフォーマット



メモリーカードは最初に使用する前にフォーマットする必要があります。[] を選択し、OK [] ボタンを押してメモリーカードのフォーマットを確定します。フォーマットが完了すると、カメラは自動的に再起動し、電源が入ります。



注意

- 上記の設定は、設定メニューからいつでも変更することができます。
- デバイスを工場出荷時の設定に戻した後、起動時に初期設定インターフェースも起動します。

電源オン/オフ

1. 本機が電源に接続された状態でエンジンをかけると本機の電源が入り、自動で録画を開始します。
2. エンジンを切ったり、車の電源を切ったりすると、レコーダーは録画を停止してオフになります。
3. [] ボタンを短く押すとカメラの電源が入ります。
[] ボタンを長押しすると電源が切れます。

ループ録画


1. microSDカードを挿入した状態で本機の電源がオンになると、ループ録画を設定の時間で自動で開始します。
2. 録画時間(ファイル生成時間)を「1/2/3/5/10」分から選択できます。
3. 録画メディアの容量がいっぱいになると、古いファイルから上書きして録画を続けます。
4. ループ録画ファイルは下記のフォルダに保存されます:
\`DCIM\MOVIE` フォルダ

緊急録画

1. 自動緊急録画

録画中に衝撃を感知すると、自動で録画しているファイルをロックします。ロックされたファイルは上書きされません。



2. 手動緊急録画

録画中に [] ボタンを押すと、録音中のファイルがロックされます。一度ロックされたファイルは、ループ録音機能によって上書きされることはありません。

注意:

衝撃感度はシステム設定 -> 「衝撃感度」 オプションで調整します。ロックされたファイルはSDカードに保存されます: `DCIM\Movie\RO`

音声録画の無効化/有効化

[] ボタンを1回押すと、音声録音がオフ/オンになり、[] LEDライトは消灯/青色点灯になります。

駐車モードには3つの選択肢がある。

1.自動イベント検出

カメラは駐車モード中に動体を検知すると、自動的にビデオシーケンスを記録します。新たな動きが検知されない場合、録画を停止します。

2.タイムラプス録画

タイムラプス録画は、1/2/3/5/10 fpsの低フレームレートでビデオを記録し、音声を記録せずに連続的に記録を保持します。

注意: タイムラプスモードでは音声は録音できません。





3.低ビットレート録音

このモードは、低ビットレートでビデオと音声を記録し、小さなファイルサイズを使用して連続録画を行います。

注意:

駐車監視は、エンジンがオフになり、USB Type-Cハード駐車監視ケーブルが連続電源を供給する場合にのみ、駐車中の車両の監視を提供します。駐車監視ケーブルは車のバッテリーを放電から保護します。駐車監視の記録には、別売りのVIOFO HK4 ACC駐車監視ケーブルの購入をお勧めします。

本機でビデオを再生

1. スタンバイモード（録画されていない状態）で、[] ボタンを押してプレイリストに入ります。
2. 矢印キー[] を使って希望のビデオを選択し、[] ボタンを押して再生します。
3. [] ボタンを押して終了します。

VIOFO APPでビデオを再生

Wi-Fiを有効にするには、Wi-Fiボタンを長押ししてください。まず、スマホでWi-Fiに接続します。VIOFOアプリを開き、「**カメラに接続**」を選択して、ドライブレコーダーを携帯電話で操作します。アプリを介してファイルを再生および管理できます。詳細については、アプリの紹介を参照してください【**スマートフォンでのレビューとコントロール**】。

PCでビデオを再生

1. カメラからメモリーカードを取り外してください。メモリーカードを取り外す前に、カメラの電源を切っていることを確認してください。
2. メモリーカードをPCに接続したマイクロSDカードアダプターまたはカードリーダーに挿入してください。
3. VLCまたは他のビデオプレーヤーを使用して、DCIMフォルダーを開き、ビデオを再生してください。

注意: microSDスロットのあるPCの場合、メモリーカードを直接挿入することができます。

ビデオファイルの保存場所

録画モード	保存場所
ループ録画（動体検知を含む）	DCIM \ Movie
緊急録画（上書き禁止）	DCIM \ Movie \ RO
駐車録画（動体検知/タイムラプス録画/低ビットレート録画）	DCIM \ Movie \ Parking
スナップショット	DCIM \ Photo

ファイルフォーマットの定義

フロントカメラ、車内カメラとリアカメラの録画ファイルは別々に保存されます。

2023_0821_180010_062PF.MP4
2023_0821_180010_063PI.MP4
2023_0821_180010_064PR.MP4

P 駐車監視で録画された動画。

年 月日 時間 シーケンス番号

● Fフロントカメラ
I 車内カメラ
R リアカメラ

スマホで設定と再生

スマートフォンに接続する

VIOFOアプリを使用すると、レコーダーの映像をスマートフォンから確認できます。録画ファイルの再生、スマートフォンへのダウンロード、各種設定もアプリから行います。

■ Android デバイス

Android端末をお使いの方はGoogle Playでダウンロードするか、公式ウェブサイト <https://www.viofo.com/content/13-app> からAPKを直接ダウンロードできます。

■ iOS デバイス

iOS端末をお使いの方はAPPストアからダウンロードできます。



Download on the
App Store



GET IT ON
Google Play

■ VIOFOアプリを接続

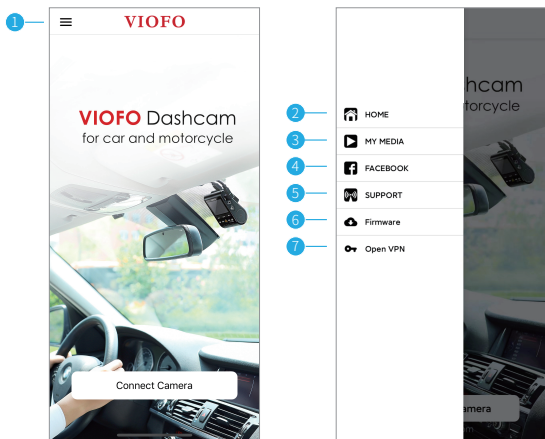
メニューでWi-Fiをオンにするか、[Wi-Fi] ボタンを長押しします。Wi-Fiがオンになると、カメラの液晶画面にWi-Fi名（SSID）とパスワードが表示されます。



- ステップ1: A229 PlusをWi-Fiに接続します。スマホがドライブレコーダーと接続されるとカメラのLEDライトが青く点灯します。
- ステップ2: VIOFOアプリを開き、[カメラを接続]を選択します。端末からドライブレコーダーの各種設定を行います。
- ステップ3: フロントカメラとリアカメラの録画ファイルの再生、microSDカード内のファイルの確認、各種設定変更を行います。

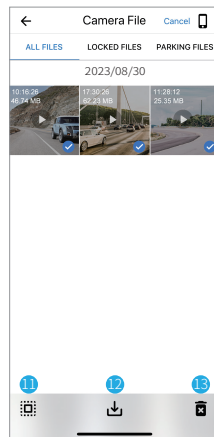
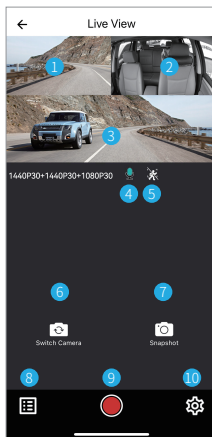
APPLレイアウトの概要

「カメラを接続する」を選択し、接続した端末からドライブレコーダーを設定します。



- 1 - メニュー
- 2 - ホームページ
- 3 - ビデオダウンロード
- 4 - VIOFO公式Facebookページ

- 5 - 公式サポート
- 6 - ファームウェアの更新
- 7 - VPN接続



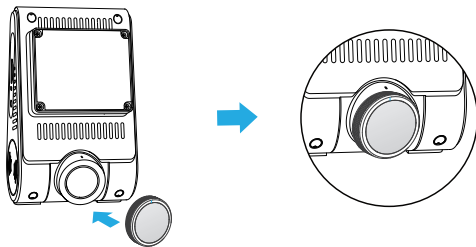
ビデオのプレビュー

- 1 - リアカメラライブビデオ
- 2 - 車内カメラライブビデオ
- 3 - フロントカメラライブビデオ
- 4 - 録音状況
- 5 - 動体検知
- 6 - カメラ画面を切り替える
- 7 - スナップショットを撮る
- 8 - 録画ファイルリストへ移動
- 9 - 撮影開始/停止
- 10 - システム設定
- 11 - 録画ファイルリスト
- 12 - ビデオをダウンロード
- 13 - ビデオを削除

部品の取り付け

偏光フィルター

CPL (円形偏光フィルター) を使用すると、窓ガラスや路面からの乱反射や写り込みを減らし、見やすさをアップさせます。偏光サングラスと同じような機能を持たせることで、自然で美しい映像を手軽に実現します。



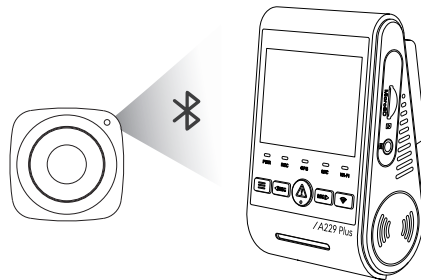
CPLを取り付ける際は、フィルターの白いマークと本体の白いマークの位置を合わせてください。

Bluetoothリモコン (別売り)

ハンドルなどの操作しやすい場所にBluetoothリモートコントロール (別売) を取り付けます。リモコンのボタンを押すと、録画中のファイルをロックして静止画を撮影します。リモコンのボタンを3秒押すと、本機との接続することができます。接続成功する場合、LEDライトが青に示します。

ドライブレコーダーとのペアリング

- レコーダーを電源に接続してオンにします
- リモコンのボタンを3秒以上押したまま、赤いライトが点滅するのを待ちます。
- ペアリングが成功すると、リモコンのLEDインジケータが青くなります。



システム設定

カメラまたはVIOFOアプリを使用して、ニーズや好みに応じてドライブレコーダーの設定を行うことができます。設定メニューに入るには、まず録画を停止してください。

ビデオ設定

•録画解像度:

1. 本機:
 - 2560x1440P 60fps
 - 2560x1440P 30fps
 - 1920x1080P 30fps
2. フロント + リアカメラ:
 - 1440P60+1440P30
 - 1440P30+1440P30
 - 1080P30+1080P30
3. フロントカメラ + 車内カメラ:
 - 1440P30+1080P30
 - 1080P30+1080P30
4. フロントカメラ + リアカメラ + 車内カメラ:
 - 1440P30+1440P30+1080P30
 - 1080P30+1080P30+1080P30

注意：HDRが有効な場合、フロントカメラは1440P 60fpsは使用できません。HDRを有効にすると、フレームレートは自動的に30fpsに切り替わります。

•ビデオビットレート: 低 / 正常 / 高 / 最大。

ビデオのビットレートを設定できます。高いビットレートは、特に速い動きやコントラストの高いシーンを録画するときに、ビデオの品質と滑らかさを向上させる可能性があります。高ビットレートモードを使用すると、メモリーカードに記録できる時間が短くなることがあります。低ビットレートを使用すると、容量を節約し、より長い時間録画できます。

•ループ録画: 1 / 2 / 3 / 5 / 10分

microSDカードを入れた状態で電源を入れると、自動的に録画が開始します。記録されるファイルは1つにつき最大3分で、microSDカードのストレージが一杯になると古い映像が入れ替わります。

•録音:

録音：マイクのオン/オフを切り替えます。録音中にマイクボタン [MIC▶] を押して変更することもできます。

•露出（フロント/リア/車内）：

EV（露出値）の値を適切に調整することで、さまざまな光源下でより良い映像を作成できます。範囲は-2.0~+2.0です。フロントカメラ、リアカメラ、車内カメラのEVを個別に調整できます。デフォルトは0.0に設定されています。

•HDR（ハイダイナミックレンジ）:

オフ/オン/自動HDR時間。デフォルト設定はオフです。マルチ露出HDR技術は、露出オーバーの問題を避けるために、明るすぎる部分と暗すぎる部分の照明バランスを自動的に調整します。

•Gセンサー感度：

Gセンサーが衝撃を検知し、記録中のファイルをロックします。ファイルは通常のループ録画では上書きされません。誤作動を防ぐため低めに設定することをお勧めします。

•カスタムスタンプ：

録画されたビデオに情報を刻印することを選択します。日付スタンプ/GPS速度スタンプ/GPS座標スタンプ/カスタムスタンプ/ナンバープレートスタンプ/ロゴスタンプ/ブランドモデルスタンプ。

• タイムラプス録画: オフ / 1 / 2 / 3 / 5 / 10 fps.

特定の時間間隔で撮影したフレームからビデオを録画することで、メモリを節約し、ビデオのレビューにかかる時間を短縮します。デフォルトはオフです。

• IR LED: オフ / オン / 自動

"オン" は、赤外線ライトが常にオンであることを意味し、したがってビデオの色は白黒です。"オート" は、カメラが異なる光の条件に応じて赤外線ライトのオン/オフを決定することを意味します。"オフ" は、赤外線ライトがすべてオフになっていることを意味します。

• 駐車監視

本機では3つの駐車録画監視を設定できます。

① 自動イベント検出

モニターの監視範囲内で動いている物体が感知されるとカメラは自動的に録画を開始します（イベントの15秒前から30秒まで）一定時間動きがないと録画を停止します。

② タイムラプス録画

1/2/3/5/10/15 fpsの低いフレームで録画します。タイムラプスモードでは音声は記録されません。

③ 低ビットレート録画

このモードでは、前後カメラが低ビットレートでビデオを録画します。音声を録音しつつファイルサイズを抑えて録画します。

注意：

駐車監視の録画には、別売りのVIOFO HK4 ACCケーブルの購入をお勧めします。

車を真夏に屋外で駐車する場合、タイムラプス録画をお勧めします。車内の温度が60°Cを超える場合は、カメラの電源を切ることをお勧めし、録画エラーや不可逆的な損傷を回避してください。

• 駐車録画時間:

"オフ" は、カメラが電源供給をカットするまで録画を続けることを意味します。

"1時間" は、カメラが駐車監視に入ってから1時間後に電源を切ります。

• 駐車監視遅延:

駐車監視に入る時間を設定します。（駐車監視ケーブルと接続する場合のみご利用できます）

「オフ」に設定すると、エンジンが切れてからすぐに駐車監視に入ります。

「90s」に設定すると、エンジンが切れてから90秒後にカメラが駐車監視に入ります。

• 駐車衝突感度:

Gセンサーが大きな衝撃や急激な動き（衝撃や衝突など）を検知すると、イベント録画が開始されます。駐車監視は高感度に設定することをおすすめします。

• 駐車動体検出:

検知の感度を調整します。駐車監視では、風や雨によるわずかな動きは録画は行われません。

• 画像回転 & 鏡像:

リアカメラ画像の回転と鏡像のオン/オフ。
車内カメラ画像の回転と鏡像のオン/オフ。

• ユーザー情報:

録画したビデオにカスタマイズしたテキストを表示します。

• ナンバープレート:


録画した映像にカーナンバーを表示します。

• カメラ画面切り替え:

フロントカメラ/インテリアカメラ/リアカメラ/リアオーバーレイ/フロントオーバーレイ/全カメラ。

システム設定

• Wi-Fi: オフ/2.4GHz/5GHz。

オン/オフに設定します。Wi-Fiを有効にするには [] ボタンを3秒または5秒押します。5GHzのWi-Fiモードを選択することをお勧めします。

• タイムゾーン:

GPS時刻と日付の校正のために、現在のタイムゾーンを設定します。日本 (GMT+9)

注意: タイムゾーンは、サマータイム用に手動で調整する必要があります。

• 日/時刻:

日付/時刻を設定

• 起動遅延:

電源接続する時、カメラは数秒遅れて起動できます。設定はOff / 5s / 10sです。

• LED:

全消灯/全点灯/電源LEDのみ。
LEDライトの有効/無効を設定できます。

• 駐車監視LED:

すべて消灯/すべて点灯/パワーLEDのみ。
駐車監視のLEDライトを有効/無効にできます。

• 電子音:

オフ/キートーンのみ/起動音のみ/すべて。
ボタン音と起動音の有効/無効を設定できます。

• 音声通知:

音声通知のオン/オフを切り替えます。

• 音声通知の音量: 低/中/高

音声通知の音量を調整します。

• 音声コントロール:

音声コントロールのオン/オフを切り替えます。
音声コントロールをオンにすると、写真撮影、Wi-Fiのオン/オフ、録画の開始などを音声コマンドで操作できます。

注意:

音声コマンドの言語は、以下の4つのオプションのカメラシステム言語と一致する必要があります: 英語、中国語、ロシア語、日本語。

• 音声コントロールコマンド:

音声認識コマンド。カメラを遠隔操作するために、次のようなさまざまな音声コマンドを発行できます:

- 写真を撮る
- 音声オン
- スクリーンオン
- WiFiを開く
- フロントカメラ
- 前後カメラ
- ビデオスタート
- 音声オフ
- スクリーンオフ
- WiFiを閉じる
- バックカメラ
- ビデオをロック

• GPS :

GPS ロガーのオン/オフを切り替えます。GPSモジュールは、録画したビデオに位置データを含めるために使用されます。無効にすると、カメラは速度や位置を測定しなくなり、時刻や日付も同期されなくなります。(GPS信号で接続した場合のみ有効) ビデオを再生したり、コンピュータ上で位置や速度を再生には、「Dashcam Viewer」アプリを使用してください。

• スピード:

速度単位は、キロメートル毎時 (KMH)、マイル毎時 (MPH) を切り替えます。

• **スクリーンセーバー:** 録画中、1分後に画面がデフォルトで黒くなります。メニューの別の時間間隔を調整することによってそれを設定することができます。

• フリッカー:

録画した映像のちらつきやバンディングを最小限に抑えるために設定します。

• **言語:** 中文 / 繁體中文 / English / Français / Español / Português / Deutsch / Italiano / Русский / 日本語 / Türkiye / Română / Polski / Česky / Slovensky

• フォーマット:

microSDカードに保存されているデータをすべて削除します。

注意: microSDカードをフォーマットすると、すべての情報が削除され、復元できなくなります。フォーマットする前に、必要なファイルをすべてバックアップしてください。

- **フォーマット警告:** オフ/15/30/60日。
メモリーカードをフォーマットするための定期的なリマインダーを設定します。
- **デフォルト設定:** デバイスを工場出荷時の設定に戻す。
- **バージョン:** レコーダーの現在のファームウェアバージョンを表示します。

ファイルリスト

- **ビデオ**
ビデオファイルのリスト。
- **写真:**
写真ファイルのリスト

ファームウェアの更新

弊社ホームページよりファームウェアソフトを入手できます。
<https://viofo.jp/a229-pro-product-support/>

注意：

- ファームウェアのアップグレードにmicroSDカードを使用する前に、カメラ内でカードをフォーマットしておく、安定した読み取りと書き込みができます。
- ファームウェアを更新する際、レコーダーの電源は切らないでください。更新に失敗し、起動できなくなる場合があります。

保証規約

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

1. お買い上げ日から1年間の保証期間内に、取扱説明書に従った正常な使用方法で故障した場合にのみ、本書の規定に基づき無償修理もしくは交換サービスを提供させていただきます。修理や交換により代替え品をご提供の場合、お送りいただいた製品は特別の申し出がない限り当社の所有となります。
2. 保証期間内であっても次のような場合には有償での修理となります。
 - 取扱説明書、その他の注意書きに従った使用がなされなかった場合。
 - 当社の許可なく行われた不正な修理や改造による故障または破損。
 - お買い上げ後の移動、落下、引っ越し、輸送などによる故障または破損。
 - 火災、地震、風水害、およびその他の天災地変による故障または破損。

- 保証書の提示がないとき。
 - 消耗品（バッテリーなど）の交換の場合。
 - お買い上げいただいたご本人様でない場合（譲渡など）
3. 本製品のご使用または故障により生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した費用）、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切の責任を負いません。
 4. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
 5. 保証期間経過後の修理などについてご不明の場合はお買い上げの販売店、またはカスタマーサポートにお問い合わせください。本書は著作権法上の保護を受けています。当社の書面による特別の許可を得ずに本書の全部または一部を印刷物のかたちであれ電子的かたちであれ、複製・転載・貸借・翻訳することを禁じます。いかなるかたちであっても商用利用を禁じます。

VIOFOを購入頂いて誠にありがとうございます。
購入日から、すべての製品は12ヶ月間、すべての付属品は3ヶ月間保証されます。VIOFOは、すべてのユーザーに生涯テクニカルサポートを提供します。私たちは、お客様が当社の製品とサービスに100%ご満足いただけるよう努力しています。

製品登録プログラム

VIOFOは、お客様が保証期間を6ヶ月延長できるように、製品登録プログラムを用意しています。
www.viofo.com にアクセスし、新製品を登録することで、保証期間を12ヶ月から18ヶ月に延長することができます。



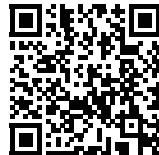
QRコードをスキャンしてアクティベート
今すぐ6ヶ月延長保証を有効にする

ビデオ共有

VIOFOカメラで撮影した動画を共有することができます。
新しい発見と一緒に楽しみましょう share@viofo.com、不思議なプレゼントを手に入れるチャンスを得よう。

お問い合わせ方法

- メール： supportjp@viofo.com
- Youtube: 「VIOFO JAPAN」を検索
- Twitter： <https://twitter.com/VIOFOJJP1>
- Facebook: <https://www.facebook.com/viofo.japan/>
- 電話： +86 755 8526 8909 (CN)
- 月曜日-金曜日 9:00-18:00 (UTC+8)



QRコードをスキャンしてチケットを送信
する